

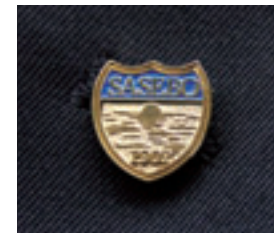
### 佐世保市PRバッジ

東京や福岡、関西の佐世保会、佐世保観光ふるさと大使、あるいは、海外、県外などによく出張や旅行をされる方々から、「佐世保をPRするようなバッジはないのですか？ なければ作ってくださいよ」という声を以前から聞いていました。そこで、ことし、本市が市制施行110周年を迎えることもあり、「佐世保市PRバッジ」を作成しました。

九十九島の夕映えに市制を施行した「1902」年の数字を刻み、佐世保の美しい海を表すコバルトブルーの中に「SASEBO」を記し、「キラッと都佐世保」のイメージからゴールドの盾にアレンジしたバッジです。

このバッジは、市民や市出身者で市外在住者、そして本市を愛する方々に着けていただき、特に市外に出掛ける時などに、佐世保をPRするツールにしていきたいと思います。

私も市外に出掛ける時は必ず着けています



佐世保市PRバッジ  
※受付開始日や受付場所など、詳しくは4月号でお知らせします。

ので、多くの方々から「そのバッジは？」と尋ねられました。それが糸口となって、佐世保のことはもちろんのこと、話が発展していくという効果がありました。

さり気なく佐世保をPRし、そしてビジネスや親交を深めるチャンスにつながるのではないかと思いますので、ぜひご活用ください。

本来ならば市民の皆さま全員に配布したいのですが、予算の都合もありますので、希望される方には実費(200円程度)で頒布したいと思います。市民みんなで佐世保市をPRしていきましょう。

佐世保市長 朝長 則男



### 市政広報テレビ番組「キラっ都させば」

災害に強い安全・安心なまちづくり

### 学校施設の耐震化工事を進めています！

いつ起こるか分からない災害に備え、建築物の耐震化が全国的に進められています。本市でも子どもの生活の場・地域住民の緊急避難施設である小・中学校施設の耐震化工事を進めており、その様子を朝長市長がお伝えします。

放送予定日	放送時間(放送局)
3月 3日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
3月10日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
3月17日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
3月24日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

3月放送のクイズ当選者プレゼント

西海国立公園九十九島水族館「海きらら」  
無料入館券(2枚1組)を5人に



2頭のハンドウイルカによる日本初の大技「ジャンピングキャッチボール」を披露しています。イルカたちと一緒に皆さんのご来館をお待ちしています！

提供：西海パールシーリゾート ☎28-4187

### プレゼント応募方法

はがきかEメールに、①番組で出題したクイズの答え②ご覧になった放送局③番組の感想④住所⑤氏名⑥年齢⑦電話番号を書いて広報係(あて先は20ページ下部)へ。3月28日(水)必着 ※応募は1人1通。正解者の中から抽選し、発表は発送(4月中旬)をもって代えさせていただきます。

【1月放送の答え=B 応募数=60通】



「佐世保開港ロールケーキ新発売！」(2月放送)の収録の様子。番組は市ホームページで閲覧できます。

※23年度の放送は今月で終了します。24年度の開始時期は本紙でお知らせします。

秘書課 ☎24-1111

### 歴史散歩

第五六〇回

### 茶臼に鎮座の六地藏

● 柚木町

撮影・文 ● 筒井隆義

柚木町三本木観音堂の前に、風化が著しい六地藏尊が立っています。よく見ると、直径七十センチほどの丸い鉢型の器の上に置かれ、台座は六地藏尊と異なる石材でできています。

市教育委員会で四十年間考古学の発掘調査に当たってきた久村貞男さん(六十四歳)によると、この台座は茶臼の一部で、上に重ねた挽き臼で粉の抹茶にしたものを受ける受け皿の部分だということです。久村さんが手掛けた竹辺町の竹辺城跡発掘、針尾西町の針尾城跡からも茶臼の残欠が出土した、ということ。

茶の湯は室町時代に珠光が創始したといわれ、足利将軍義政に教え、たちまち武家社会を中心に広まりました。天下人・豊臣秀吉に重用された茶人・千利休が有名で、戦国武将は命を賭して戦う宿命であり、安心立命の境地を得ようと、こぞって茶の湯に親しみました。

六地藏の台座に転用されている茶臼受け皿は、風化しているものの原形をとどめ、形も整っています。少なくとも二十センチほどの重量があり、簡単に持ち運びできません。とすれば、この柚木に相応の身分を誇る豪族が、屋敷を構え、茶室を建てて茶の湯を楽しんでいた可能性が出てきます。茶臼は当時家宝扱いでした。

室町時代(十四〜十六世紀)は茶の湯のほか連歌、花道、能、歌舞伎など今日まで伝わる文化の花開いた時代です。柚木地区の筒井町には平戸の古書「印山記」にも登場する連歌師・手光宗作の子孫という一族も住み、永禄七(一五六四)年、平戸松浦の軍門に降った相浦・飯盛城主松浦丹後守親の有力武将だった人が浪人して住んだ、との伝承が残っています。いずれにしても、草深い純農村地帯という柚木のイメージが、少し違ってきてそうです。



### 東日本大震災の被災地支援

義援金累計 1億5374万8953円  
(1月31日現在)

【1月受付分】敬称略・順不同  
▷させばシーサイドフェスティバル実行委員会(戸尾町)▷(社)佐世保青年会議所(湊町)▷ゲツカンナラデワヘンシユウ▷蛭川誠司(山祇町)▷俵町商店街協同組合(俵町)▷(株)平興産ワンダーランド佐世保白岳店(白岳町)▷佐世保市婦人防火クラブ連絡協議会(平瀬町)▷サイトヒロミ▷ラララーメンオオムラテン▷オオムラジエイポウル▷孫さんの小籠包(栄町)▷おりおせからまわり隊(塩浸町)

本市募集分の東日本大震災義援金は、3月31日をもって受け付けを終了します。皆さんから寄せられました善意に心からお礼を申し上げます。本市では今後とも必要な支援を継続して行っていきます。

市民協働推進室 ☎24-1111

### 佐世保の食 真鯛



真鯛は春の到来とともに産卵期を迎えます。特にこの時期は、婚姻色(動物の繁殖期に現れる特有な体色)であるピンク色になることから「桜鯛」と呼ばれ、身に脂がのり、1年のうちで最もおいしくなります。真鯛は刺し身、塩焼き、鯛茶漬けなどとして親しまれ、お祝いの席にも欠かせないほか、最近「鯛のかぶと焼き」や「鯛しゃぶ」が佐世保名物として注目されるようになりました。旬の時季にぜひ一度ご賞味ください。

企業立地・観光物産振興局

☎24-1111



10月25日(金)～29日(火)、ハウステンボスをメイン会場として開催される「和牛の祭典inながさき」(第10回全国和牛能力共進会長崎県大会)。5年に1度、全国の優秀な和牛を集めて改良の成果や肉質を競う、各道府県の威信が懸かった権威ある大会です。和牛の魅力を多くの皆さんに知ってもらうため、食の情報はもちろん、観光や物産、歴史文化などに関するイベントも開催されますので、普段和牛に関わることの少ない皆さんも十分に楽しめます。今月号からこの大会に関する情報をシリーズでお知らせします。

農業畜産課 ☎24-1111